

苦難を「越える」川越

小江戸川越観光協会 会長 桑原 恒久



皆様におかれましては、日ごろから川越の観光に対し、ご協力、ご協賛を賜り心より感謝申し上げます。

さて今般、埼玉新聞社様のご好意によって、コロナ禍にさいなまれた当地の魅力を再発見し、多くの方々が、「やはり川越」と言って頂けるような、力強い特集が組まれました。ここに改めて感謝申し上げます。

伝統の川越まつりや、季節ごとの楽しいイベントの数々も、本年に限りましては中止が相次ぎ、地域の活力も失われがちな昨今でありましたが、これを期に再び歴史と伝統を伝える観光都市として、明るく希望にあふれるマチとして、再び苦難を「越える」川越として認識され、より多くの方々が楽しく語り、集い合うマチとして再成されますことを確信し、御礼の言葉といたします。

ありがとうございました。

新たな生活での再発見に期待

川越法人会 会長 藤倉 省一



コロナ禍の中、懸命な活動を続ける医療従事者ならびに事業者の方々に敬意を表します。

私は川越で生を受け、地元で根ざして暮らしております。秋風を感じる中、古い街並みや建物と言った観光名所には、人々が戻りつつあります。その一方で、少し離れた旧跡にも言い伝えや物語があります。

川越城本丸御殿の近くにある三芳野神社をご存じでしょうか。童謡「通りゃんせ」は三芳野神社の参道が舞台となった所です。静けさの中に、文化財の社殿が佇みます。人込みを避けて散歩するのも、新しい常態が叫ばれる昨今の生活トレンドかと考えます。路地を分け入って歴史を感じながら再発見を期待します。ニューノーマルな日常が始まっています。これまでと違った生活の中で地元の魅力を発見する機会も生まれてくるでしょう。

私どもは、地域の方々にも参加頂ける有益な公開講演会や研修をプロデュースして、この街に向けての情報発信の一助となればと歩んで参ります。

広がる川越のまちの魅力

川越商工会議所 会頭 立原 雅夫

川越は国内外から多くの方が訪れる観光都市です。蔵づくりの町並み、時の鐘などの歴史的建造物が広く知られていますが、今年6月に川越駅西口にホテルや商業施設などで構成される複合施設U-PLACEが完成し、皆様にぜひ訪れていただくとつ増えました。

また、従来から人気のある観光スポットでも、路地に入ると新たに少しずつ変化が起きています。川越を訪れたことがある方があり、お楽のしみいただけるかと思えます。

新型コロナウイルスへの対応として、市内の飲食店・商店は、いただきながら万全の対策を施しています。

秋のひとつ、身近な埼玉県内の観光地、川越にぜひお越しお楽しみいただければ幸いです。

小江戸川越には観光スポットが盛りだくさん。それぞれが歩いて巡れるエリアに凝縮されているのも特徴だ。ここでは数ある中から定番の観光スポットを紹介。思い思いの観光プランを練って出かけてみよう。

蔵造りの町並み



気密性を高める観音開きの窓が目を引く



川越最古の蔵造り建築「大沢家住宅」は国指定の重要文化財

小江戸川越を代表する蔵造りの町並みは、仲町交差点から札の辻交差点までの400メートルにわたって続いており、1893(明治26)年の川越大火を機に誕生した。特徴として倉庫としての蔵ではなく、店蔵であることや、「江戸黒」と呼ばれる江戸の街並みを模した黒漆喰仕上げの壁が挙げられる。それぞれの建物に個性があり、その多くが現役の店舗として親しまれている。

所在地:川越市仲町・幸町・元町

時の鐘



環境省認定の「残したい日本の音風景100選」に選ばれた時の鐘は、蔵造りの街並みの中心に位置し、小江戸川越のシンボルとして親しまれている。鐘つき堂とも呼ばれる現在の時の鐘は川越大火後の1894(明治27)年に再建されたもので、現在も1日4回、時を告げて町を見守っている。

所在地:川越市幸町15-7

菓子屋



石畳の道に20数店が軒を連ねる菓子「100選」に認定されている。団子や川越名産など昔懐かしい味を楽しみながら童心に返る

所在地:川越市元町2丁目